



令和元年 12月 18日

福岡市動物園

担当：佐藤

Tel：092-531-1960

【報道各位】

ミャンマー連邦共和国との動物交流に関する覚書（MOU）の締結 ～アジアゾウ4頭が福岡市動物園へ！～

福岡市は、ミャンマー連邦共和国と、アジアゾウ4頭の受入れを含む、動物交流に関する覚書を締結します。この覚書に基づき、希少動物の保護・種の保全を目的として、アジアゾウの生息域外である福岡市において繁殖技術の向上に、生息域内であるミャンマーにおいて医療技術の向上に、今後、お互いに連携して取り組んでいきます。

1.動物交流の主な内容

- ・福岡市はミャンマーからアジアゾウ4頭を受け入れる。
- ・ミャンマーは福岡市から動物医療機器などを受け入れる。
- ・福岡市は動物医療技術の支援を行うとともに、ミャンマーはゾウ飼育の専門家を派遣するなどの技術支援を行う。

2.今後の予定

令和2年～	・動物交流の実施 ・アジアゾウ4頭の受入れ環境を整えるための拡張整備
令和4年春頃	・アジアゾウ4頭の受入れ

ミャンマー連邦共和国自然資源・環境保全省ヤンゴン動物園と福岡市動物園の 友好と動物分野の交流に関する覚書【要旨】

ミャンマー連邦共和国自然資源・環境保全省ヤンゴン動物園と福岡市動物園（以下「両当事者」という。）は、共通の目標として、教育活動の推進、自然環境の保全、そして、それぞれの国民が愛情を持って自然を敬い、野生動物の素晴らしさへの理解を深めることに主体的に取り組む。そのような目標を推進することにおいて、両当事者は、ミャンマー国と日本国間で唯一の姉妹都市であるヤンゴン市と福岡市の友好協力関係を推進することを望む。本覚書は、生息地と生育環境の保全、及び、域内・域外での保全繁殖を促進することで、絶滅のおそれのある動物や種を保護するために、以下の条件に合意するものである。

○絶滅のおそれのある動物と種の保全を目的として、福岡市動物園は以下の動物を受け入れる。

No.1 アジアゾウ 4頭（雄1頭，雌3頭）

詳細な受け入れ時期については、福岡市動物園の受け入れ準備の進捗などを考慮し、両当事者が協議のうえ決定する。

○絶滅のおそれのある動物と種の保全を目的として、ヤンゴン動物園は以下の動物及び、動物医療機器を受け入れる。

No.1 フラミンゴ 20羽（雄4羽，雌16羽）

No.2 ライオン 2頭（雄2頭）

No.3 血液生化学検査機器（分析装置） 2基

No.4 超音波診断装置 2基

No.5 X線検査機器 2基

上記の詳細な受け入れ時期については、両当事者が協議のうえ決定する。

○福岡市動物園は、ゾウの飼育技術習得のため、ミャンマー連邦共和国自然資源・環境保全省から派遣される専門家を受け入れる。

○福岡市動物園は、ミャンマー連邦共和国自然資源・環境保全省に対して、獣医師等による獣医学に関する技術支援を行う。